

公益財団法人8020推進財団

令和5年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

地域歯科保健サポート事業【人材バンクとネットワーク形成】

2. 申請者名：

特定非営利活動法人 は一もに一プロジェクト

3. 実施組織：

特定非営利活動法人 は一もに一プロジェクト

4. 事業の概要：

今後、歯科医師会や歯科衛生士会にも少子高齢化が大きく影響し、地域歯科保健活動が縮小化されることが懸念される。今回各小中学校に学校歯科医の他に地域教育コーディネーターが配置されていることに注目し、同コーディネーターとネットワークを形成し、歯科保健活動に参加していただくことを考えた。今年度は新潟県弥彦村立弥彦小学校を対象に地域教育コーディネーターを中心に、地域ボランティアに歯科健診時の誘導、器具交換、歯科保健指導を実施してもらった。歯科健診補助に関しては当初予定していた健診の記録はできなかった。また、歯科保健に関するネットワーク形成として、子どもデンタル塾を開催した。父母や祖父母を対象とした垂直展開は可能であったが、他市町村への水平展開を進めるには地域教育コーディネーターに加え、学校や行政等の協力も必要と感じた。

5. 事業の内容：

小学校や中学校は地域における情報発信の中心となっており、歯科保健においても重要な役割を担っている。現在新潟県では各小中学校に学校歯科医の他に地域教育コーディネーターが配置されていることからネットワークを構築することで新たな地域歯科保健活動が可能になる。今年度は、まず、学校歯科保健支援サポーターバンクの構築として、すでに本プログラムに参加を表明しているボランティアの方々への研修を実施した。さらに、学校歯科健診の補助、小学校児童を対象とした読み聞かせや体験学習を含む保健指導を実施していただいた。次に、保健に関連する学校を中心としたネットワーク形成として、今年度は弥彦小学校の5、6年生を対象に「子どもデンタル塾」を実施した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

子どもデンタル塾に関しては、行政や学校の印象も良く、参加した子どもたちからは将来歯科衛生士になりたいという感想も聞かれた。本事業は幅広く実施されても良いと考えており、他市町村に対しても実施を呼びかけていきたい。

本事業を他地域でも実施していく上でのキーパーソンは地域教育コーディネーターである。自分が担当している学校での事業については問題ないが他市町村の地域教育コーディネーターと連携を取りながら進めることは簡単ではないようである。すなわち、学校での児童、生徒を対象とした事業から父母、祖父母といった垂直的なアプローチは比較的簡単に達成できるが、他市町村も巻き込んだ水平的アプローチは新たな工夫が必要である。他地域に対して水平展開するためには学校主導なのか行政主導なのか、検討していく必要がある。